

09 JR春闘シリーズ ⑨

賃上げ回答、前進なし！ 対立を確認！

3月27日、本部は、第5回団体交渉を開催し「2009年度賃金引き上げ、夏季手当の再申し入れ」（申第30号）について協議しました。席上本部は、ベースアップを行える企業体力は十分あると強く迫りましたが、会社は判断は利益だけではなく経営環境、賃金水準等を見て決定するもので、再考する考えはないとの主張に終始しました。

また、役員報酬について、JR西日本が実施した役員報酬の減額について会社の見解を質しましたが、役員報酬は株主総会の決定事項であり議論になじまないとして、議論そのものを避けました。

そして、特別加算（抜てき）は、賃金規程における条文の変更であり、それがなぜ賃金回答になるのか質しました。これについて会社は、組合の意見は聞いたと言うのみで、明確に回答をしませんでした。今回の賃上げは、まさにここに会社の考えが現われていると言えます。定期昇給は低く抑えつつ、会社が認めた優秀な社員のみを優遇するという、この賃金体系の定着を図ったものであると言えます。

（申第30号）

1. ベアゼロ回答を撤回し、基本給を全組合員一律7,700円引き上げること。
2. 定期昇給については、基準昇給額を一律1,700円とし、経過年数に応じた基準昇給額の減額は撤廃すること。
3. 安全・安定輸送を支える社員の努力に応えるために、2.95ヶ月とする夏季手当の回答を撤回し、3.2ヶ月分とすること。

（回答）

1. 2. 3. 項共、その様な考えはない。

なぜ今、
特別加算なのか！